



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：対イラン関係の進展

(2月23日付サバー八紙他)

アフマディネジャード・イラン大統領が、3月2日、バグダッドを公式訪問し、タラバーニ大統領やマリキ首相とイラクの治安問題などについて協議する。イラン大統領の訪問は1979年のイラン革命以来、初めて。

1. 在イラク・イラン大使館は、アフマディネジャード大統領は、シーア派の聖地ナジャフなどを訪れる可能性があることを明らかにした。
2. またクルド愛国同盟筋は、アフマディネジャード大統領は、クルド地域も訪れ、クルド地域政府首脳と会談することになるだろうと述べている。ただ、ズィバーリー外相は、アフマディネジャード大統領のイラク訪問は1日だけであり、地方を訪れることはないと言っている。
3. なお、アフマディネジャード大統領のイラク訪問に先立ち、対イラン協議に出席したハッジ・ハンムード外務次官は、イラン側との間で議事録に署名し、1980年代のイラン・イラク戦争によって破壊された国境標識の改修について合意した。ただし、協議後ハンムード次官は、記者団に対し、今回の協議では、両国間の陸上及び水上の国境線を示す標識を改修することについてのみ議論が行われ、国境線そのものの変更について協議したわけではない旨強調した。